

東通小学校で「下北半島 海と食育ウィーク」を実施！！



11月15日、日本財団 海と日本PROJECTの一つである『大間アゲ魚っ子キャンペーン』が東通小学校で実施され、給食に下北の海で獲れた“ホッケ”を使用した“ろうそくホッケの魚っ子ボール”がメニューとして登場しました。

このプロジェクトは、『食べて知ろう！学ぼう！わいだちの海』をテーマに、下北の小中学校を対象に行われており、海の食を通して、海への興味・関心を持ってもらい、豊かな海を守るというところを育むことを目的に、給食やミニ講座などを実施しています。

今回東通村を訪れた、下北で食育活動を推進している“峯 里砂子さん”は「子ども達が毎日食べている給食から“海の現状”や“魚”について知るキッカケになればいいと思います」と話しました。

実際に給食を食べた児童からは「普段はあまり魚が得意ではないけど、食べてみたら美味しくて、全部食べちゃいました」と笑顔で話してくれました。

12月8日には、東通小学校授業参観で出前講座を行う予定だということです。

次世代を担う子どもたちへ図書寄贈

11月6日、東北電力(株)東通原子力発電所（小笠原和徳所長）から、東通小・中学校を対象に図書が寄贈されました。

同社はこれまで、3月25日の「電気記念日」や、10月26日の「原子力の日」にちなみ、図書や実験器具などの多くの副教材を寄贈しています。50回目となった今回は、図書計152点を寄贈いただきました。

今回の図書を含め、これまで寄贈いただきました図書・教育副教材は、当村の次世代を担う子どもたちが幅広い分野への興味・関心を高め、健全な心身をはぐくむために活用させていただきます。



東通ライオンズクラブが 村内のゴミ拾いを行いました



10月14日、東通ライオンズクラブ(奥島貞一会長)が企画し、東京・東北両電力の協力のもと、役場庁舎から砂子又経由の国道回りと蒲野沢橋までの2つの区間をボランティアの一環としてゴミ拾いを行いました。

当日は、58名の方が集まり、道路脇などに捨てられているペットボトルや空き缶など、計10袋のゴミを拾いました。

当日は、シン・そば街道まつりの初日ということもあり、美化活動の一助になったことと思います。皆さんもゴミのポイ捨てには十分注意しましょう。